警戒種リスト

マルバルコウ -大豆畑へのまん延が問題となる雑草-

同定のカギ - 角があるハ -ト型の葉で つるになる ・オレンジ色 の花

形態•特徴

熱帯アメリカ原産の帰化植物。つ る性で3-4mに達する。 茎葉とも に無毛。茎は分岐が多く、短い葉 柄に先端の尖った心臓型で1~2 の角がある葉身がつく。

花は直径約1.5~2cm、5角形の ロート状、朱赤色で中心部が黄 色、一カ所に数個つける。

1個の果実に4個の種子を含む。種子は雑草としてはやや大きく(約3×2mm)、黒~灰褐 色で球を縦に四つに割ったような形でやや丸みを帯びる。種皮は硬く(硬実)、不透水層 で吸水が阻害されることで休眠している。休眠種子は湛水条件や低温でも生存している。 1株あたり数千個の種子を作る。

発生生態

子葉は丸みを帯び、切れ込みは浅い。 出芽は、4月から10月ぐらいまで長期に わたる。4月に出芽したものは6月頃に 開花し、5~7月に出芽したものは8月頃 に開花する。開花は短日で促進され、4 月あるいは8月中旬以降に出芽したも のは、植物体が小さくても開花・結実す



雑草害

大豆畑での雑草害としては、つるでからみ つくため、収穫作業の阻害、大豆汚粒の原 因、大豆の生育阻害(生育初期~中期の競 合と生育後期に大豆を押し倒す)なとがあ り、まん延すると大幅に減収する。

飼料用トウモロコシ畑では1m2あたり5-80本 で20-40%の減収となる。



防除のポイント

ほ場侵入前にほ場周辺に定着して繁茂 していることが多いので、見つけたら開 花・結実前に防除して種子生産を防止 し、大豆畑への侵入および地域全体へ の蔓延を防ぐ必要がある。

大豆の群落が完成して光が遮断される と生育が抑制されるので、大豆群落完 成までにつるにならないように、中耕や 除草剤を組み合わせて数回防除を行 う。





写真:上から、「生育中のマルバルコウ」、 「実生」、「花」、「果実」、「ダイズ畑を覆ってい る状況」。

Ver.1.

マルバルコウ

お問い合わせ

(独)農研機構 中央農業総合研究センター 雑草管理担当 澁谷知子·黒川俊二 〒305-8666 茨城県つくば市 観音台3-1-1 029-838-8481(代) kusa-daizu@naro.affrc.go.jp

-1-

まん延を防 するために



機械的防除 中耕培土を繰り返し て埋没させるととも につる化を防ぐ。発 生が少ない段階で は手取りも有効。

耕種的防除

侵入初期の防除が 重要

いったん種子がほ場内に 落ちると埋土種子を減少さ せることは困難なので、侵 入初期に種子を作らせな いタイミングで手取りも含 めて徹底防除する。

ほ場周辺の管理で 地域全体へのまん 延を防ぐ

畦畔などのほ場周辺では まん延防止のために種子 を作らせないことが重要。 花が咲いたらすぐに草刈り や非選択性除草剤で防除 する。種子の後熟を防ぐた めに刈り取り株は放置しな L10

大豆播種前に発生し ているものを耕起に よって埋没させる際 は丁寧に行う。大豆 群落を早く完成させ、 光を遮断して生育を 抑制する。

まん延圃場で雑草 害を防ぐためにはつ る化を防止する方向 <u>での</u>対策を

大豆の群落完成までつる にならないように機械的防 除と化学的防除を組み合 わせる。水稲栽培中は出 芽と種子生産が阻害され るが、埋土種子は死滅しな いため、水稲栽培以降も十 分に注意して防除を行う。



除草剤情報

大豆播種前、大豆出芽前、畦間処理ではこの他にも使用できるものがあります。 ※除草剤の使用にあたっては、ラベルをよく読み、よく理解した上で使用方法を遵守して ください。

も可)で使用する。

除草剤	薬量	処理方法•時期
ベンタゾン液剤*	100-150mL/10a	大豆の2葉期~開花前、収穫45日前まで (マルバルコウ3葉期位までが効果的)
グルホシネート液剤	300-500mL/10a	大豆播種前、大豆播種後出芽前
グルホシネート液剤	300-500mL/10a	畦間・株間処理、収穫28日前まで (大豆にからみつかないうちが効果的)

*ベンタゾン液剤の効果は帰化アサガオの種によって異なり、種内でも変異があるので注意 が必要です。

マルバルコウ (枯れやすい) ホシアサガオ マメアサガオ

マルバアサガオ マルバアメリカアサガオ・アメリカアサガオ (枯れにくい)

※本パンフレットは、農林水産省委託プロジェクト研究「気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のための技術開発」および 農研機構研究課題「生物情報に基づく帰化雑草の侵入・まん延警戒システムと長期的雑草管理法の構築」の成果に基づいて作成 されました。

2011.11 作成版

マルバルコウ